

ナガスクジラについて

令和6年5月

背景：

- ・本種は1906年から1975年までの世界的規模の乱獲により生息数が大幅に減少した。
- ・北太平洋では1976年から商業的な捕獲が行われておらず、2000年以降の目視調査において発見数の増加も確認されてきた。
- ・2017年から2022年の夏季において、IWCの目視調査ガイドラインに基づいて実施された調査船によって得られた1000件以上の目視情報の解析によって、最新の北太平洋全体の生息数は5.5万頭程度まで回復していることが明らかになった（初期資源の54%以上と推定されている）。
- ・北太平洋全体における鯨類資源調査（非致死調査）で得られた約340個体の遺伝標本と海外で公開されている遺伝情報を含めた解析を行い、北太平洋全体に4つの遺伝的なグループがあることが明らかになった。

Q1 ナガスクジラの生息域は？

A1 北太平洋全海域で見られる。外洋性であり、沿岸に現れるのはごくまれである。夏に高緯度海域で摂餌し、冬に低緯度海域で繁殖する。

根拠：「新版 鯨とイルカのフィールドガイド」より

Q2 ナガスクジラの特徴は？

A2 鎌形の背びれが吻端から3分の2あたりに位置する。頭部の模様は左右非対称で、右側の下唇と口蓋が白いが、左側は背面と同じ濃灰色ないしは茶色がかった黒色である。ヒゲ板も右側の先端から3分の1だけは白色ないしはクリーム色で、他のひげ板は濃灰色の地に黄色い縦縞が見られる。背中後方にV字状の灰色の帯が見られる。

根拠：「新版 鯨とイルカのフィールドガイド」より

Q3 北太平洋全体におけるナガスクジラの資源量は？

A3 近年（2017年－2022年）のIWCのガイドラインに基づいて実施された目視調査によって得られた目視情報の解析によって、北太平洋全体の生息数は5.5万頭程度まで回復していることが明らかになっている（初期資源の54%以上と推定されている）。

Q4 新たに捕鯨の対象となる北西太平洋におけるナガスクジラの資源量は？

A4 北太平洋全体における鯨類資源調査（非致死調査）で得られた約340個体の遺伝標本と海外で公開されている遺伝情報を含めた最新の解析結果から、北太平洋全体に4つの遺伝的なグループがあることが明らかになっている（下記図を参照。SOJ：日本海・東シナ海系群、WNP：北西太平洋系群、ENP：北東太平洋系群、SOC：コルテス海（カリフォルニア湾）系群）。

今回捕鯨の対象となる北西太平洋系群（WNP）のナガスクジラの資源量推定値は、遺伝解析結果などによる最良の情報に基づく各海域の割合を考慮して19,299頭と推定された。

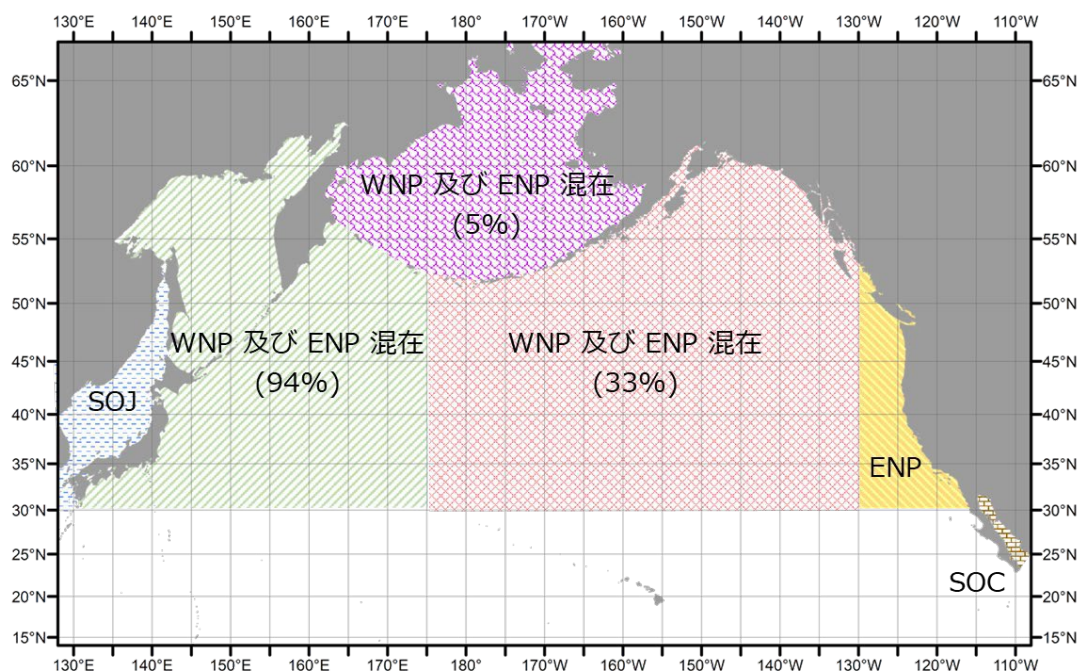


図 1. 北太平洋におけるナガスクジラの系群構造とそれぞれの海域において捕獲対象となる北西太平洋（WNP）系群が含まれる割合（％）。
SOJ：日本海・東シナ海系群、WNP：北西太平洋系群、ENP：北東太平洋系群、SOC：コルテス海（カリフォルニア湾）系群。

Q5 捕獲可能量は出すの？

A5 国際捕鯨委員会（IWC）の改訂管理方式（RMP）に沿って、ナガスクジラの「捕獲可能量」は 60 頭と算出された。また、この RMP に基づく資源管理により、100 年間資源に悪影響を及ぼさずに持続的に捕鯨できることを、シミュレーションで確認している。今後更に慎重に検討され、「捕獲頭数」が決定する予定である。捕獲可能量は今後得られる最新の科学情報を考慮して、原則として 6 年毎に改訂される。

Q6 今後はどう管理するの？

A6 今後も、引き続き、IWC の調査ガイドラインに基づいて、オホーツク海、北西太平洋、ベーリング海及び北東太平洋で資源調査は実施される。これらの目視情報から得られた資源量推定値も考慮して、前述の RMP に沿って最新の捕獲可能量を算出する。資源量推定値の変動に応じて捕獲可能量も変動する。資源に悪影響を与えることが無いように、継続的に資源調査を進め、常に安全な資源管理を進める。

Q7 ナガスクジラの体長は？

A7 ナガスクジラ 19.17m（オス）、20.22m（メス）

根拠：ポスターを作った時の「国内実測値」他の 3 種は以下の通り。

イワシクジラ 15.0m（オス）、15.9m（メス）

ニタリクジラ 13.3m（オス）、14.8m（メス）

ミンククジラ 8.62m（オス）、8.79m（メス）

Q8 ナガスクジラの体重は？

A8 北西太平洋のナガスクジラの平均体重（オス・メス、未成熟、成熟個体を含む平均）は、42.3 トン

出展：「世界の海洋における鯨類の年間食物消費量」（田村 力・大隅清治著，1999年）より他の3種は以下の通り。

イワシクジラ 19.9 トン

ニタリクジラ 13.2 トン

ミンククジラ 5.3 トン

Q9 ナガスクジラの餌は？

A9 北太平洋：オキアミ類やカイアシ類などの動物プランクトンの他、魚類やイカ類も餌とするなど幅広い食性を有している（根本 1956 他）。南極海：主要餌生物はナンキョクオキアミ（*Euphausia superba*）だが、海域によっては他のオキアミ類やカイアシ類（*Calanus tonsus*）、端却類（*Parathemisto gaudichaudi*）を餌とすることもある（Kawamura1994 他）。

出展：根本 1956 北太平洋のヒゲ鯨の餌料について 鯨研通信 60 号 1-8
Kawamura1994 A review of baleen whale feeding in the Southern Ocean
Rep. Int. Whal. Commn 44 261-271.

Q10 ナガスクジラの妊娠期間は？

A10 成熟した雌は、2-3 年に 1 回出産し妊娠期間は 11-12 か月である。出典：「新版 鯨とイルカのフィールドガイド」より

Q11 ナガスクジラは絶滅危惧種ではないのか。

A11 IUCN や IWC ホームページでは、本種は「絶滅危惧種」となっているが、これは北太平洋の最新情報が含まれていないためである（1990 年代から更新されていない）。

以上